

令和3年10月31日執行

# 衆議院小選挙区選出議員静岡県第4区選挙公報

静岡県選挙管理委員会

コロナに打ち勝ち、ピンチをチャンスに	重症化防止にターゲットを絞り、ワクチン、治療薬で社会経済活動を進め、非接触非対面のデジタル社会を見据えた構造改革の断行
身を切る改革増税の前にやるべきことがある	行財政改革を断行し、無駄な投資は一切せず、将来の国民の皆様につけを残さない
既得権益と中央集権の打破	中央集権という既得権益を打破し、統治機構改革で地方を活性化
年率4%の名目成長もって、10年間で国民所得の50%アップを達成	ベーシックインカム、企業規模の拡大、労働生産性の向上を実現することにより国民所得アップで経済成長
脱原発依存、脱炭素体制の構築を実現するための再生可能エネルギー推進	地域資源を活用した再生可能エネルギーを推進することにより、脱原発依存、脱炭素社会と自立分散型社会を実現
生命と安全を守るためのバランス重視の多国間外交を展開	日米同盟を基軸とし、バランスオブパワー（勢力均衡）に配慮した米中拮抗時代の新しい外交

中村けんいち  
日本  
大改革

経済成長と格差解消を実現するグレートトリセツト

- 税制改革  
消費税を5%に引き下げ  
フローからストックへ
- 社会保障改革  
ベーシックインカム  
持続可能なセーフティネット
- 成長戦略  
規制緩和、デジタル改革  
日本全体の生産性の向上

教育の無償化で、あらゆる格差が固定化しない社会の実現

教育に公的資金を投入し、経済的な理由で進学・学問の機会を断念することがない教育環境の構築

経済格差、教育格差、世代間格差等、社会の活力を失わせる格差を放置しない

政治家の最も重要な使命である公平公正な所得の再分配を駆使し、既得権者に迎合することなく、富の偏在を解消

社会移動を容易にすることにより活力を取り戻し、将来の成長に結びつける

教育の機会均等を保障し、誰もみ出や成育環境に左右されずその可能性に挑戦できる環境を作る為、憲法改正による教育無償化の実現

今こそ、「日本大改革」を。

既存政党による現状維持、微修正型政治の延長線上に、解決策は無い。

元後職  
■日本維新の会衆議院静岡県第4選挙区支部長 ■日本維新の会静岡県総支部副代表  
■富士宮ロータリークラブ会員 ■富士宮市消防団第7分団副団長

現後職  
■富士宮市議会議員 ■富士宮市議会環境衛生委員会委員長 ■岳南排水路管理組合監査委員



日本維新の会公認  
中村けんいち

1974年5月28日生まれ。富士宮市立立川小学校、富士宮市立富士宮第三中学校、静岡県立清水東高等学校、信州大学工学部生産システム工学科卒業。卒業後、静岡県議会議員秘書を務める。ウエストミンスター大学へ、ギリシに語学留学。帰国後、民間企業に就職する。2015年、富士宮市議会議員選挙当選（2期）。2021年7月衆議院議員選挙出馬のため、党籍を示し、富士宮市議会議員を辞職。

希望ある経済を取り戻す

- コロナ禍の影響を受けた事業者の固定費最大9割支援
- 経済が回復するまで消費税減税（10%→5%）
- 中小企業の賃金引き上げ、新規正規雇用、技術継承と事業承継を積極支援
- 最低保障機能を強化した新しい基礎年金制度への移行

希望ある教育を取り戻す

- 3歳からの義務教育化と高校までの教育無償化
- 児童手当と返済不要の給付型奨学金の拡充
- 雇用のセーフティネット強化と職業訓練の充実

希望ある地域を取り戻す

- 清水区の新スタジアム構想による街づくりや富士宮北部の観光促進等を積極支援
- 富士川流域の河川環境改善
- 土石流災害を防ぐための法制化
- 安心できる医療体制の構築

比例は国民民主党へ

「困っている人を見捨てない政治」を

あゝ頃の思いを忘れずふるさと静岡と日本のために。

私は新聞奨学生として新聞配達をしながら東京の大学に通いました。

地元での成人式の朝は大雪。しかし、私を静岡に行かせてあげようと、先輩や同僚は、バイクどころか自転車すら乗るのが難しい中、私の分まで新聞を配達してくれました。

困っている人を見捨てない。それこそが私の情熱の源泉です。コロナ禍が始まってもうすぐ2年。困難に直面している方々の声を私はずっと聞き続けてきました。

コロナ禍で失われた日常を取り戻し、誰もが希望を持てる社会を一日も早く全力で実現します。

1977年（昭和52年） 富士川町生まれ（44歳）  
略【学歴】 県立富士高等学校卒業、青山学院大学経済学部卒業  
【職歴】 第一勧業銀行・みずほ銀行 大田区議会議員 1期、東京都議会議員 2期  
【家族】 妻、息子（4歳）、チワワ



人づくりこそ国づくり  
田中けん  
正直な政治を貫く

大切なものを守る。ふかざわ陽一の重点政策

自民党 5つのテーマ

- 1 感染症から命と暮らしを守る！  
● コロナ禍を乗り越えるため、国民のみならずご協力を求める時には、科学的知見に基づいた「納得感のある説明」につとめます。  
● ワクチン接種の早期完了の継続と、新型コロナウイルスの経口薬（のみ薬）の普及を促進します。  
● 中小企業・小規模事業者やフリーランスの方への協力金や支援金支給の迅速化、融資や補助金などの支援の届け方も含めた感染症有事対策を、抜本的に強化します。
- 2 コロナ禍で傷んだ経済を立て直す！  
● 「成長」に向けた大胆な成長投資とともに、「分配」によって所得を増やし、消費マインドを改善します。  
● 「成長」と「分配」の両面から、日本経済を新たな成長軌道に乗せていきます。
- 3 地方創生。地域の伸び代を活かす！  
● ふるさとの財産である富士山の景観や地域ブランドとしての農林水産物、伝承された文化を活かした観光を拡大します。  
● 世界に向けた海の玄関である清水港の整備の拡充など、地方への人の流れを強化し、活力を生むコンテンツへと育てていきます。
- 4 「教育」が国家の基本。豊かな学びの機会の創出！  
● 誰ひとり取り残さない教育、どんどん伸ばす教育、家庭や学校や地域社会で、豊かな学びの機会を提供します。  
● 教育が人材力を強化します。子供達だけでなく、幅広い年代を対象に、学びの機会を増やします。
- 5 女性・若い世代の活躍を応援する！  
● 日本の未来をつくるには、今までよりもさらに女性の力、若者の活躍を応援します。  
● 人生100年時代を迎えた今、「全世代の安心感」を創出し、日本の活力につなげます。

深澤陽一プロフィール  
昭和51年6月21日 静岡市清水区興津生まれ（45歳）。清水市立興津小学校卒業、清水市立興津中学校卒業、静岡県立清水東高等学校卒業、信州大学工学部生産システム工学科卒業。大学卒業後、衆議院議員・原田昇左右代議士、原田令嗣代議士の秘書を経て、2005年より静岡市議会議員として2期6年、2011年より静岡県議会議員として3期9年活動。2020年4月 衆議院議員初当選。

SNSで活動報告をしています。 f ぶかざわ陽一 @fukazawayoichi fukazawa\_yoichi



自民党公認・公明党推薦  
ふかざわ陽一

# かならず 選挙に行く



# 10.31 SUN 衆院選

[投票時間] 午前7時から午後8時まで  
(一部地域を除く)



## 衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

期日前投票 10月30日(土)まで 投票時間は原則として午前8時30分から午後8時まで  
投票の詳細についてはお住まいの市区町の選挙管理委員会にご確認ください。

### 有権者の皆様へ

今回の選挙に、皆様の大切な一票を投じていただくようお願いします。投票所では、事務従事者のマスク着用、手洗い・うがいの実施、投票用紙の記入に使用する鉛筆の消毒等、新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。期日前投票は、新型コロナウイルス感染防止を理由としても行うことができますので、積極的に利用してください。

**感染症対策へのご協力をお願いします**

- マスクの着用や咳エチケット等に協力をお願いします。
- 投票所に備え付けの消毒液による手指消毒に協力をお願いします。
- 投票用紙への記入にあたっては、「持参された鉛筆」の使用も可能です。
- 帰宅後も、手洗い・うがい等の感染症対策をお願いします。

**特例郵便等投票制度について**

新型コロナウイルスに感染され自宅や宿泊施設で療養されている方、海外から帰国され一定期間の隔離や停留の対象となった方は、療養等されている場所で郵便により投票ができますので、お住まいの選挙管理委員会にお尋ねください。

統一標語「誰のため? その一票は 君のため」  
静岡県選挙管理委員会・静岡県明るい選挙推進協議会

静岡 衆院選 検索



明るい選挙キャラクター  
選挙のめいすいくん